

シルガード® 9を 接種された方(保護者の方)へ



目次

はじめに	3
シルガード®9 について	4
接種スケジュールについて	5
接種後の注意点	6
副反応について	8
接種後の失神と痛みについて	10
子宮頸 ^{けい} がん検診について	12
Q&A	14

はじめに

シルガード®9は、子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス(Human Papillomavirus: HPV)の感染を予防するワクチンです。

この冊子では、シルガード®9の特徴や副反応について、さらに、HPVワクチン接種とあわせて子宮頸がん予防に大切な、子宮頸がん検診についてご紹介します。

不安に思うことや、もっと知りたいことなどがありましたら、医師、薬剤師、看護師にご相談ください。





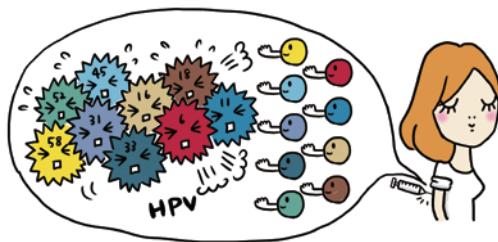
シルガード®9について

シルガード®9はヒトパピローマウイルス
(HPV6、11、16、18、31、33、45、52、58型)の
感染を防ぐワクチンです。

子宮頸がんの原因は、ヒトパピローマウイルス (Human Papillomavirus: HPV) という、ごくありふれたウイルスの感染によるものです。

シルガード®9を接種することで、子宮頸がんの原因となるHPVの16、18、31、33、45、52、58型に加え、尖圭コンジローマの原因となるHPVの6、11型に対する抗体がつくられます。

シルガード®9は、これにより子宮頸がんや尖圭コンジローマを予防するワクチンです。



シルガード®9に含まれる9つのHPV型により、日本人の子宮頸がんの原因となるHPV型の88.2%をカバーします^{注)1)}。

シルガード®9に含まれているHPV型以外のHPV感染およびこれらによる病変の発症予防の効果は期待できません。

注) 4価HPVワクチン(ガーダシル®)に含まれる4つのHPV型では、日本人の子宮頸がんの原因となるHPV型の65.4%をカバーしています¹⁾。

1) Sakamoto J et al. *Papillomavirus Res.* 2018; 6: 46-51.

接種スケジュールについて



十分な予防効果を得るためには、
シルガード®9を必ず3回接種してください。

シルガード®9は初回接種（1回目）、その2ヵ月後（2回目）、6ヵ月後（3回目）に、腕の筋肉内に注射します。

3回接種することで十分な予防効果が得られるため、3回目まできちんと接種してください。

【接種スケジュール：初回接種、2ヵ月後、6ヵ月後】

初回接種

2ヵ月後

6ヵ月後



1年以内に3回の接種を終えることが望ましいとされています。また、2回目および3回目の接種が2ヵ月後および6ヵ月後にできない場合は、医師に相談しましょう。

1回目にシルガード®9を接種した場合には、
2回目、3回目もシルガード®9を接種してください。

同じワクチンを3回接種することで、予防効果が確認されています。

3回接種が
重要ね！





接種後の注意点

1

接種後にめまいやふらつき、失神などが起こることがあります。倒れないように注意し、すぐに帰宅せずに接種後30分程度は病院内にとどまり、体重を預けられるような場所で、なるべく立ち上がることを避けて安静にしてください。



2



接種後は、注射部位を清潔に保ってください。

3



接種後24時間は、過度な運動を控えてください。

4

接種した日に入浴しても問題ありません。ただし、体を洗うときに注射部位を強くこすらないようにしてください。



5



3回の接種が完了しないうちに妊娠した場合は、医師にご相談ください。

6



次回も同じHPVワクチンを接種してください。





副反応について

シルガード®9の接種により、
次のような副反応があらわれることがあります。
異常が認められた場合は、
すぐに医師、薬剤師、看護師に相談してください。

一般的にワクチンを接種すると、接種した部位が腫れたり痛むことがあります。これは、体の中でウイルス感染を防御する仕組みが働いているために起こる症状で、通常は数日間程度で治まります。長く続いたり、気になる症状がある場合は医師に相談してください。

特に注意が必要な副反応

- ・過敏症反応[アナフィラキシー(頻度不明)、
気管支痙攣(頻度不明)、蕁麻疹(頻度不明)など]

呼吸困難、蕁麻疹などを症状とする重いアレルギー

- ・ギラン・バレー症候群(頻度不明)

手や足に力が入りにくい、しびれなどを症状とする末梢神経の病気

- ・血小板減少性紫斑病(頻度不明)

鼻血や歯ぐきからの出血、あおざなどがみられる病気

- ・急性散在性脳脊髄炎(頻度不明)

発熱、頭痛、手足が動きにくい、歩きにくい、意識の低下などを症状とする脳などの神経の病気



【その他の副反応】

注射部位の痛み、腫れ、赤み

頻度10%以上



発熱、注射部位のかゆみ、出血、熱っぽさ、
しこり、知覚消失、頭痛、感覚鈍麻^{どんま}、悪心

頻度1～10%未満



手足の痛み、腹痛、下痢

頻度1%未満



無力症(まぶたが下がる、物がだぶって見えるなど)、
寒気、疲れ、だるさ、内出血、血腫、注射部位のしこり、
気を失う、体がふらつくめまい、関節の痛み、
筋肉痛、おう吐、リンパ節の腫れや痛み、
皮ふ局所の痛みと熱を伴った赤い腫れ、
インフルエンザ、のどの痛み

頻度不明





接種後の 失神と痛みについて

接種後、30分程度は安静にしてください。
また、接種後に体調の変化があった場合には、
すぐに医師に相談してください。

HPVワクチンの接種後に、めまいやふらつき、失神などが起こることがあります。転倒してけがをしないように、次の3つの注意事項を守ってください。

3つの注意事項

- 1 接種後に診察室から待合室などへ移動するときには、看護師や保護者などに腕を持って付き添ってもらってください。
- 2 接種後30分程度は、背もたれや肘かけのあるイスなど、体重を預けられるような場所で待っていてください。
- 3 待っている間は、なるべく立ち上がることを避け、座ってください。

気分が悪くなったり、めまいを感じたら、転倒しないようにイスにもたれかかる、しゃがむ、横になるなどして、すぐにスタッフや医師に知らせてください。

接種後にふらつきや失神が起こる理由

注射を打ったときの痛み、恐怖、興奮などによる刺激が脳神経のひとつである迷走神経を介して中枢に伝わり、心拍数や血圧がさがったりすることがあります。そのため、気分が悪くなったり、めまいやふらつき、失神などが起こります。これは、血管迷走神経反射とよばれ、多くの場合これが原因となり、注射後の失神が起こると考えられています。血管迷走神経反射は思春期の女性に多いという報告があります。特に注射への恐怖心が強い方は注意が必要です。



接種後に痛みやしびれ、手足の動かしにくさ、 不随意運動^{ふずいいうんどう}などが長く続く場合には、適切な診療が 可能な医療機関を受診いただく必要があります。

- ワクチンの接種を受けた後に、広い範囲に広がる痛みや、手足の動かしにくさ、不随意運動（動かそうとっていないのに体の一部が勝手に動いてしまうこと）などを中心とする多様な症状が起きたことが報告されています。
- この症状は専門家によれば「機能性身体症状」（何らかの身体症状はあるものの、画像検査や血液検査を受けた結果、その身体症状に合致する異常所見が見つからない状態）であると考えられています。
- 症状としては、①知覚に関する症状（頭や腰、関節等の痛み、感覚が鈍い、しびれる、光に関する過敏など）、②運動に関する症状（脱力、歩行困難、不随意運動など）、③自律神経等に関する症状（倦怠感、めまい、睡眠障害、月経異常など）、④認知機能に関する症状（記憶障害、学習意欲の低下、計算障害、集中力の低下など）などいろいろな症状が報告されています。
- 「HPVワクチン接種後の局所の疼痛や不安等が機能性身体症状をおこすきっかけとなったことは否定できないが、接種後1ヵ月以上経過してから発症している人は、接種との因果関係を疑う根拠に乏しい」と専門家によって評価されています。
- また、HPVワクチン接種歴のない方においても、HPVワクチン接種後に報告されている症状と同様の「多様な症状」を有する方が一定数存在したことが明らかとなっています。
- このような「多様な症状」の報告を受け、様々な調査研究が行われていますが、「ワクチン接種との因果関係がある」という証明はされていません。
- ワクチンの接種を受けた後や、けがの後などに原因不明の痛みが続いたことがある方はこれらの状態が起きる可能性が高いと考えられているため、接種については医師とよく相談してください。

ワクチン接種後の「多様な症状」の発現状況については、これまでの臨床試験結果からでは判断できない点もあるため、今後さらに調査を行って、検討していく予定です。



子宮頸がん検診^{けい}※について

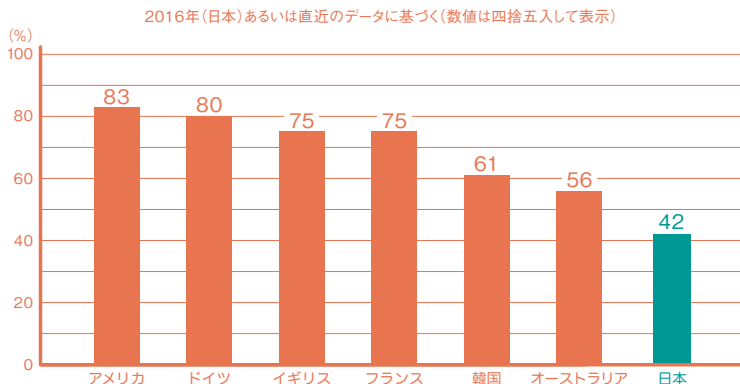
※国の指針としては、20歳以上の女性において、2年に1回の受診が推奨されています。

シルガード[®]9は子宮頸がんを100%予防できるわけではありません。
シルガード[®]9の接種とあわせて、20歳を過ぎたら子宮頸がんの早期発見、
早期治療のために、定期的に子宮頸がん検診を受けるようにしましょう。

日本は他国に比べて、子宮頸がんの 定期検診受診率がとても低い状況です。

世界の各国では、子宮頸がん予防への意識が高く、アメリカやドイツでは
約80%の女性が定期的に検診を受けています。今や先進国では子宮頸がん
検診は、多くの女性に必要な検診と捉えられています。

世界各国の子宮頸がん検診受診率（OECD加盟国における20～69歳の女性、2019年）



公益財団法人 がん研究振興財団 がんの統計'18. より作図

子宮頸^{けい}がん予防

HPVワクチン
接種



子宮頸^{けい}がん検診



注)シルガード®9の接種とあわせて、20歳を過ぎたら定期的に子宮頸^{けい}がん検診を受けるようにしましょう。

HPVワクチンの接種や子宮頸^{けい}がん検診について相談できる、
お近くの医療機関を検索してみましょう。

もっと守ろう.jp
<http://www.shikyukeigan-yobo.jp/>





Q&A



Q 接種のスケジュールが遅れてしまいましたが、
どうすればよいでしょうか？

A 初回接種の2ヵ月後または6ヵ月後の接種スケジュールから遅れてしまった場合は、気づいた時点でなるべく早く接種して、その後のスケジュールを継続してください。最初から接種をやり直す必要はありません。

Q シルガード®9の接種を完了したので、
もう検診は受けなくてもよいでしょうか？
また、これで一生、子宮頸がんや尖圭コンジローマには
なりませんか？

A たとえワクチンを接種しても、子宮頸がんや尖圭コンジローマを100%予防できるわけではありません。20歳を過ぎたら、定期的に子宮頸がん検診を受けてください。

Q シルガード®9の接種を開始した後に妊娠してしまいました。どうすればよいでしょうか？

A 3回接種を完了する前に妊娠した場合は、医師にご相談のうえ、次の接種を出産後まで延期してください。

Q シルガード®9を接種することで、子どもができにくくなることはありませんか？

A シルガード®9の接種によって子どもができにくくなるという報告はありません。

Q 接種を予定した日に風邪を引いてしまいましたが、接種はできますか？

A 体調が極めてよくないとき、熱が37.5℃以上あるときは、シルガード®9の接種はできません。医師にご相談のうえ、体調が回復してから接種してください。

Q インフルエンザなど、他の予防接種を受けようと思っています。気をつける点がありますか？

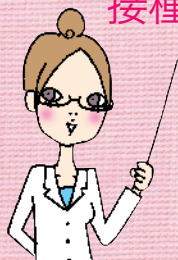
A ワクチンによって接種間隔が異なりますので、他のワクチンを接種する場合、あるいはすでに他のワクチンを接種済みの場合は医師にご相談ください。

シルガード®9接種記録カード

接種予定日を記入し、シルガード®9の3回接種完了にお役立てください。

- 接種後、気になる症状があるときは医師にご相談ください。
- 予防効果を得るためには3回接種する必要があります。
- 1回目にシルガード®9を接種した場合は、2回目、3回目もシルガード®9を接種してください。
- 3回の接種の途中で妊娠した場合は、接種を見合わせ、その後の接種について医師にご相談ください。
- 20歳を過ぎたら、定期的に子宮頸がん検診を受けましょう。

シルガード®9 接種記録カード



シルガード®9接種記録カード

接種予定日を記入し、シルガード®9の3回接種完了にお役立てください。

医療機関名

氏名

	日	月	日	月	日	6ヵ月後 初回接種日から
	日	月	日	月	日	2ヵ月後 初回接種日から
	日	月	年	日		初回
ロット番号	接種予定日・接種日					

接種スケジュール



ホームページ

ワクチンを
接種したら
必ず予防
できるの？



子宮頸がんのこと、
もっと知りたいけど
詳しい情報は
ないかな？

もっと守ろう.jp

HPVワクチン接種や、子宮頸がん^{けい}予防に役立つ情報を詳しく紹介しています。



もっと守ろう.jp

<http://www.shikyukeigan-yobo.jp/>



MSD製薬

INVENTING FOR LIFE

2020年11月作成

SIL20PA0010